



## 5月29日 全校朝会「いのちのはなし」

「いのちを見つめる日」の6月1日には、毎年校長講話を行っていますが、今年は6/1が土曜日、更に5年生の宿泊体験学習(5/30~31)と重なったため、全校児童が一堂に集まる5月29日に全校朝会を実施しました。校長講話「いのちのはなし」は、次のような内容で行いました。

『「いのち」ってなんだろう?』と、子どもたちに問いかけその後、6年生へのアンケートをもとにその考えを示しました。

そのあと、医師としてご活躍された日野原重明さんの言葉、「いのちとは、自分に与えられた時間のことです。」を紹介し一緒に考えていきました。

最初に、私たちには、どれくらいの**いのち=与えられた時間**があるのか、日本人の平均寿命84歳をもとにして計算しました。26億4千9百2万4千秒となります。

次に子どもたちが今どれくらいの**いのち=与えられた時間**をつかっているのかを図(横線)を使って表しました。

さらに、**いのち=与えられた時間**を毎日の生活「ご飯を食べる」「遊ぶ」「眠る」…に使っていることを示し、時間を使うことは、いのちを使うこと。だからいのちは、大切なものであることを伝えました。

最後は、校長先生からの3つのお願いとして、次のことを話しました。

- 自分のいのちを大切に(自分の夢のために時間を使う)
- 家族のいのちを大切に(家族のために時間を使う)
- 友達のいのちを大切に(みんなのために時間を使う)

**いのち=与えられた時間**を「たくさんある」「少ない」など様々な考えを子どもたちはもったことと思います。与えられたいのち=時間だからこそ、大切にを使って自分の夢に近づいてほしいという願いからこの話をしました。

嬉しい反応(「いのちのはなし」後の子供たちの感想)がありましたので紹介します。

・私は校長先生が言っていた夢のためにも、時間が大切なのがわかりました。自分の夢は人それぞれだけどみんなが夢に向かうための「行動」が必要だと思いました。

・命を大切に、家族のため自分のため、友達のためにいっぱい時間を使って幸せになれるその時間を目指したいと思いました。

・命は、時間を大切に生きれば、いい出会いやいい人生を送ることができるんだと思いました。

・たった一つの命を大切に時間、自分だけで命を結ぶんじゃないかと、みんなで結ぶ命じゃないかと思いました。

・与えられたいのちの時間を大事に過ごして、楽しい時間を過ごしていきたいです。



## 「いのち」ってなんだろう



## 6年生にきいてみました!

- ・いきるために ひつようなもの
- ・一回なくしたら とりもどせないもの
- ・一つしかない おかねではかえないもの
- ・つぎのせだいにひきつぐたいせつなもの

## いのちとは

## じぶんに あたえられた 時間(じかん)



まいにち この時間をつかって

ごはんを食べる あそぶ ねむる  
 べんきょうをする うんどうをする  
 おんがくをきく ほんをよむ  
 ともだちとおしゃべりする ……

時間をつかうことは、**いのちをつかうこと**

だから

**いのちは たいせつなもの**

・家族の命などを守って、自分の命は自分で守りたいです。ぼくは、自分に与えられた時間を有効に活用していきたいです。

・命が与えられた時間だという見方はなかったので驚きました。与えられた残りの時間でどんな手伝いができるだろう、友達にどんなことをしてあげられるだろうと考えるきっかけになりました。

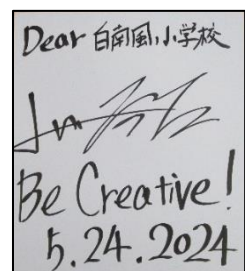
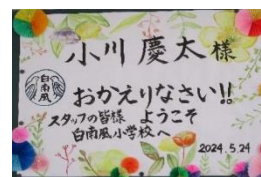
・日野原さんの考えを聞いて、確かに命は与えられた時間だなと思いました。私たちはいつかは亡くなってしまうので、それを時間として表すことが心に残りました。いろんな経験をするには生きていないとできません。私は生きていていろんな経験ができます。それってすごく幸せなことだとあらためて実感しました。

・約26億秒が多いのか少ないのかよくわからないけど、いじめや仲間外れ、他人にひどいことをする暇はないのだなと思いました。自分にはまだ夢が決まっていなくても、目の前の道を確認し、間違えたら間違いを認められるような人になりたいです。これからも命に対して真剣に向き合いたいです。

子供たちが自分なりに考えた感想をたくさん書いてくれました。本当に頼もしい白南風っ子です。

## 音楽の魔法に魅了された 小川慶太さんドラム&パーカッション演奏会

昨年の1月、育友会長さんから「グラミー賞アーティストの小川慶太さんの演奏会を白南風小でできますか？」こんな素敵な話が突然入ってきました。私は、「ぜひ！」と二つ返事でお願ひしました。このような経緯で、小川慶太〜おもちゃのちゃちゃちゃ〜ドラム&パーカッション演奏会を5月24日に実施できることとなりました。開催にあたっては、育友会役員の皆様にたくさんの協力をいただきました。ありがとうございました。小川慶太さんは佐世保市出身そして白南風小学校の卒業生です。そのためこの日の演奏会を楽しみにされていた保護者、地域の方、同級生もたくさんいらっしゃいました。



めこの日の演奏会を楽しみにされていた保護者、地域の方、同級生もたくさんいらっしゃいました。

14:00 開演、小川慶太さん登場。いきなりドラムの演奏が始まり、その音に圧倒されました。ドラムの音を生演奏で聴くのは初めての子が多かったようで、だんだん体が前のめりになっているのわかりました。演奏の間にはトークの時間もありました。白南風小学校や中学高校専門学校、アメリカ音楽学校の思い出やアメリカでの音楽活動の様子などのお話を聞くことができました。また、子供たちからの質問コーナーもあり、「どうしたら、楽器が上手になれますか。」「どうやって夢を叶えられたのですか。」「ドラムを始めたきっかけは、どうしてですか。」「打楽器の魅力は何ですか。」「日本を代表するパーカッショニストとして、一番大切にしていることはなんですか。」などの質問に丁寧に答えていただきました。特に3つ目の始めたきっかけの話の中では、「小学校の頃やりたかった小太鼓のパートに、選考テストで漏れてしまった悔しい思い出」も語っていただきました。トークの後は、子供たちとのコール&レスポンスが始まりました。慶太さんが楽器をたたくと子供たちがつくってきた手作り楽器を真似してたたきます。楽しいリズムもあり、繰り返していくと、だんだんと盛り上がって会場の雰囲気は最高潮に達し、あっという間に45分が過ぎてしまいました。

代表の子供2名がお礼の言葉と花束のプレゼントをお渡しし、最後は、会場の全員が入っての記念写真をパチリ！音楽の魔法にかかった45分でした。

色紙にサインを書いていただきました。書いてある言葉は、**Be Creative!** 夢に向かって自分らしく豊かな発想で、もっと楽しくもっと幸せになろう！と教えていただいたような気がします。